

### 第3学年 英語科学習指導案

#### 1 単元 Unit 6 Striving for a Better World ( NEW HORIZON English Course 3 )

#### 2 指導観

- 本単元では、世界平和に貢献したノーベル平和賞受賞者たち、その中でもアウンサンスーチー氏の半生を紹介する題材が扱われている。アウンサンスーチー氏をはじめ、本単元で紹介されているノーベル平和賞受賞者について知り、その生き方に触れることは、生徒たちにとって紛争の絶えない現代世界について考えるきっかけとなり、人権や平和への意識を高め、自分の生き方や考え方について深く考えることにつながる大変意義深いものであると考える。

本単元で取り入れられている主な言語材料は、関係代名詞（主格）who, which, that である。生徒たちは、前単元で後置修飾を学習しており、後ろから語句について説明を加える英語特有の表現を学習している。関係代名詞は、一文で物事や人について詳しく説明できる言語材料であり、強調して伝えたいことを明らかにしながら、生徒の英語による表現技法の幅を広げることができる。

- 本学級は、男子○名、女子○名により構成されている。授業中に自分が知っている英語を積極的に使おうとする生徒が多く見られるが、リアクションのバリエーションが乏しい生徒がほとんどであり、かつ単語での応答が中心で、正しい語順の文章で会話する姿は少ない。6月に行ったアンケート（○名回答）によると、○人の生徒が英語を使って話したい、書けるようになりたいと思っているが、話すことに対して○人、書くことに対して○人が苦手意識を持っていることが分かっている。また、「日本の文化的なものの紹介」の自由英作文において、全ての生徒が英文を使って答えていたが、条件の5文以上を満たしているのは○人中○人で、その○人も動詞や冠詞の欠落や語順ミスが多くみられた。また、既習の文（This is～. I like ～. 等）はスムーズに使うことができるが、新出文法をうまく活用することができない生徒が多い。これらの結果から、文法を理解し、実際に活用する場面で正しく使うことができていると分析することができる。そこで、学習した内容を活用できる言語活動を通して繰り返し使いながら定着させる必要があると考える。

- そこで本単元の指導に当たっては、世界で活躍する人々について学び、単元末に「私が尊敬する人」というテーマでスピーチを行わせる。将来を考え始めた生徒たちにとって、これまで影響を受けてきた人物、またはこれから目指したい人物について、自分の思いを英語で発信させることがねらいである。指導にあたっては、学習した文法内容を確実に定着、活用できるように、インプットした内容をアウトプットする言語活動（対話や英作文）を帯学習で学習課程に組み込み、繰り返し使用する機会を作っていく。また、関係代名詞のポイントを理解した上で本文の内容を読み進め、スピーチに使える表現を選択させておく。また、発音やリンキングを意識させるために本文の音読は繰り返し行う。本文読解においては、生徒の気付きを大切にしながら、アウンサンスーチー氏の取組から人権や平和に対する生徒の考えを述べる場も設定したい。最後に、「私が尊敬する人」のスピーチを発表させるが、準備した英文を暗記したり読み上げたりするのではなく、パワーポイントを見ながらプレゼンテーションすることを経験させ、英語で発信する自信につなげていく。

### 3 単元目標

○テーマ「私が尊敬する人」について、間違いを恐れず英語で伝えようとする態度を育てる。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○「私が尊敬する人」について、関係代名詞を用いて、総語数35語以上で英文を書き、スピーチを行うことができるようにする。

【外国語表現の能力】

○ALTや友達のスピーチ内容を聞いて内容を理解することができるようにする。

【外国語理解の能力】

○関係代名詞を用いた文の構造や意味について理解することができるようにする。

### 4 単元計画（時間配分 11時間）

配時	学習活動・内容	ねらいと主な手立て	評価基準
1	○本単元のゴールについて知る。 ・英語での人物紹介を聞き、教科書の写真のどの人物についての説明か確認する。 ・教師が尊敬している人物のモデル文を聞き、本単元のゴールを確認する。 ・自分が紹介したい人物について考え、簡単なマッピングを行う。	○本単元のゴールイメージを持たせる。 ・既習文を使って人物紹介を行う。新出文型も使うが、ここでは解説しない。 ・本単元のゴールイメージを持たせるために、教師のモデル文を提示する。	・関心・意欲・態度 ・理解(聞く)
1	○接触節について理解する。 ・教師の範読を聞き、その概要を理解する。 ・接触説の意味内容、言語形式を確認する。 言語形式：先行詞+主語+動詞 ・昨年3年生が作成した学習プリント（「2つの文を1つにしよう」）に取り組み、接触節のしくみになれる。 ・接触説を使い、自分の身の回りの人や物について説明する文を作り、ペアで共有する。	○接触節について理解させ、それを使って英文を書かせる。 ・接触説の構造を理解するために、パワーポイントを使い、例を提示する。 ・基本文に着目し、言語形式の確認を行う。関係代名詞の省略として扱わず、語順のみ意識させる。 ・接触節の語順を習得させるために、モデル文を参考に自分の身の回りの物について説明する。	・理解(聞く) ・知識・理解 ・表現(書く、話す)
2 1 / 2	○関係代名詞(主格 who)について理解する。 ・教師の人物を説明する英文を聞き、その意味内容について考える。 JTE: Look at this picture I found on the Internet. What do you think about these girls? They make up their face on the train! I don't like it. ALT: I don't like the girls who make up their face on the train. How about them? They are chewing gum. JTE: I hate it. What do you think? ALT: I don't care the girls who chew gum on the train. ・関係代名詞の言語形式や意味内容について理解する。 意味内容：「～は…する一だ」 言語形式：先行詞+who+動詞 使用場面：人について詳しく説明(特定化)するため ・生徒が調べたいと考える項目についての調査活動を通じて関係代名詞を含んだ文の定着を図る。 ・関係代名詞を含んだ英文を書き、学習した内容を活用できるか確認する。	○関係代名詞(主格 who)について理解させ、関係代名詞を使って英文を書かせる。 ・ALTとJTEの会話を通して関係代名詞を含んだ英文を聞かせ、会話内容を板書で確認し関係代名詞の英文の意味内容に気付かせる。 ・ALTとJTEの会話で出てきた文章を基に関係代名詞の文法の説明をする。 ・いろいろな場面で、マナーについての調査活動を通して、関係代名詞の言語形式、使用場面が理解できるようにする。 ・関係代名詞(主格 who)を習得したか確認するために、自分が尊敬する人についての情報を関係代名詞を使って英文を書く。	・理解(聞く) ・知識・理解 ・表現(話す) ・表現(書く)
	○教科書を読み、アウンサンスーチーさんの半生についての映画の内容を確認する。	・	・理解(読む)
2	○関係代名詞(主格 that/which)について理解する。	○関係代名詞(主格 which/that)について理解させ、関係代名詞を使って英文	・理解(聞く)

	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が説明する英文を聞き、その意味内容について考える。</li> </ul> <p style="border: 1px solid green; padding: 2px; text-align: center;">This is the word that(which) makes me happy.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係代名詞の言語形式や意味内容について理解する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>意味内容：「～は…する一だ」      言語形式：先行詞+<b>which</b>+動詞      使用場面：モノ、事項について詳しく説明(特定化)するため</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>意味内容：「～は…する一だ」      言語形式：先行詞+<b>that</b>+動詞      使用場面：人、モノ、事項について詳しく説明(特定化)するため</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>自分が影響を受けた歌や映画、本などを紹介する言語活動を通じて関係代名詞を含んだ文の定着を図る。</li> <li>関係代名詞を含んだ英文を書き、学習した内容を活用できるか確認する。</li> </ul> <p>○教科書を読み、アウンサンスーチーさんが何を決意したのかを読み取る。</p>	<p>を書かせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係代名詞 that の英文の意味内容に気付かせるために、教師が尊敬する人について紹介する文章を聞かせ、その内容を板書する。その際、who との違い（先行詞が何か）を確実に確認する。</li> <li>教師の紹介文で出てきた文章を基に関係代名詞の文法の説明をする。</li> <li>前時で学習した関係代名詞 who を取り上げ、that の用法を確認する。</li> <li>関係代名詞を習得させるために、関係代名詞を使った言語活動を行う。</li> <li>尊敬する人の紹介文の1つを作成する。</li> <li>自分の人生をかけて何かを守るスーチーさんの生き方を知ることで、現在の自分を振り返る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>知識・理</li> <li>表現(話し)</li> <li>表現(書く)</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係代名詞(目的格(that/which))について理解する。</li> <li>教師が説明する英文を聞き、その意味内容について考える。</li> </ul> <p style="border: 1px solid green; padding: 2px; text-align: center;">This is a teacher that I like very much.</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>関係代名詞の言語形式や意味内容について理解し、接触節との関係に気付く。そのために、1時間目に提示した例文と同じものを使う。</li> <li>自分が好きな先生、映画、本などについて紹介する言語活動を通じて関係代名詞目的格を含んだ文の定着を図る。</li> <li>関係代名詞の目的格を含んだ英文を書き、学習した内容を活用できるか確認する。</li> </ul> <p>○教科書を読み、政治活動を続けるアウンサンスーチーさんについて考える。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係代名詞(目的格 which/that)について理解させ、関係代名詞を使って英文を書かせる。</li> <li>関係代名詞目的格の英文の意味内容に気付かせるために、1時間目に提示した例文と同じ内容を紹介する文章を聞かせ、文を板書する。その際、これまでの主格の関係代名詞との違いをおさえ、また、接触節との関連に気付けるようにする。</li> <li>教師の紹介文で出てきた文章を基に関係代名詞目的格の文法の説明をする。</li> <li>本時の文法の定着を確認するために、自分が尊敬する人の紹介文の1つを作成する。</li> <li>アウンサンスーチーさんの生き方を深く知るために、fight と strive の違いについて考える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>理解(聞く)</li> <li>知識・理</li> <li>表現(話し)</li> <li>表現(書く)</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「私が尊敬する人物」についてスピーチ原稿の準備をする。</li> <li>教科書 Activity①のレポート発表を聞き、内容を確認する。</li> <li>マッピングをもとに書きたい内容を整理する。</li> <li>インターネット等を使い、書きたい人物についてさらに情報を集める。</li> <li>○「私が尊敬する人物」のスピーチ原稿を書く。</li> <li>パワーポイントに使いたい写真、資料をまとめる。</li> <li>スピーチ原稿をALTと確認し、付加修正を行う。</li> <li>○「私が尊敬する人物」についてスピーチを行う。</li> <li>パワーポイントを活用し、英文の棒読みにならないようにする。</li> <li>発表は相互に評価し、それぞれ感想を記入する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○関係代名詞への理解を深めるために、スピーチの原稿を基に文法指導、確認を行う。</li> <li>英文がうまく作れない生徒に対しては、教科書のモデル文を参考にして作ってよいことを伝える。</li> <li>パワーポイントは3～5ページとし、必要な情報をスピーチの流れに沿ってまとめるよう指示する。</li> </ul> <p>&lt;スピーチ原稿の条件&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>35語以上。</li> <li>関係代名詞の主格を含む文を使う。</li> <li>関係代名詞の目的格を含む文を使う。</li> <li>関係代名詞の省略を含む文を使う。</li> <li>接続詞なども使い、文章の流れを意識する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>表現(書く、話し)</li> </ul>

5 本時 平成〇年〇月〇日 (〇) 〇限目 英語科教室

(1) 本時の指導観

本時では、関係代名詞の主格 who について学ぶ。指導にあたっては、まず、ALT と JTE の対話を視聴させる。このねらいは、「①本時のめあて（生徒の活動は何か）につなげる、②本時で取り扱う文法に気付かせる」の2点である。本時のめあてを確認した後、モデル対話の中に含まれていた関係代名詞の主格を使った文を板書し、関係代名詞の言語形式や意味について理解させる。次に、パワーポイントを使って本時の活動で調査する項目の英語表現を練習する。さらに、調査活動で用いる関係代名詞の語順を定着させるために、カードを用いてグループでカード当てゲームを行う。このとき、繰り返し発音することで、語順を理解するだけでなくその後の活動でスムーズに言えるようにする。その後、新出文型である関係代名詞主格 who を用いて調査活動を行う。調査項目の内容は事前にアンケートをとって生徒が調べたい内容にし、活動に対する意欲を高め、活動の必然性を感じさせる。また、自分の考えと友達の考えの相違を感じながら、英語でコミュニケーションをとる達成感を味わうことができるようにする。すべての活動に必然性を感じさせるために、活動の1つ1つが繋がるような授業の流れを設定し、学習した内容を活用できる喜びを感じながら文法の定着を図れるようにしていきたい。

(2) 主眼：・関係代名詞（主格）を用いることにより、ある人についての詳しい情報を含む文の構成を理解することができるようにする。

・関係代名詞主格の who を使って、間違いを恐れずに調査活動をしようとする。

(3) 準備 ・写真 ・電子黒板 ・パワーポイント ・ワークシート ・カード

(4) 展開

段階	学習活動・内容	形態	指導上の留意点	配時
導入	1. 既習事項の確認をする。 (1) 帯活動を行う。 ・本時の意識調査でリアクションとして使えそうな表現を含んだ対話のやりとりをする。	ペア	・前時までに学習した接触節を想起させるために、帯活動を行う。 ・対話するとき、顔をあげて相手を意識するよう声掛けを行う。	5
	2. 本時のめあてを確認する。 (1) ALT と JTE のやり取りを聞き、本時で学習する表現を確認する。 (生徒の帯活動が終わった後・・・) JTE : Oh, they did very well! I love my boys and girls. ALT : Yup. Well, I don't like girls. JTE : What? You don't like girls? ALT : Yes. But not them. JTE : Me? ALT : No, not you. JTE : Huh? Who? (電車の中でメイクをしている女の子の写真を見せながら) ALT : I mean I don't like the girls who make up on the train. JTE : Oh, OK. I don't care the girls who make up on the train. Because I do it myself. ALT : How about A-san? Do you like the girl who make up on the train? S-A : I don't like it. S-B : I don't care. ※ALT が何人かの生徒に質問する。生徒はその質問に答える。人それぞれ、いろんな答え(感じ方)があることを確認する。	一斉	・本時使用する表現（関係代名詞）を想起し、本時の活動の見通しを持たせるために、ALT と JTE のモデル対話を聞かせ、対話内容の概要を考えさせる。  ・内容が確認できているか確認するために、数人の生徒にALTが “Do you like the girl who make up on the train?” と尋ねる。	5

	<p>(2) 本時のめあてを確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・前時にとったアンケートを元に調査活動を行うことを確認する。</li> </ul>			
<p><b>展開</b></p>	<p><b>&lt;Today's Goal&gt; クラスのみんながどう考えているのか、意識調査をしよう。</b></p>			
	<p>3. 調査活動で使う表現の確認をする。</p> <p>(1) 関係代名詞 who の使い方を確認する。</p> <p>ALT と JTE の話した内容から、関係代名詞の主格を含む文章を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">Do you like <b>the girls</b> <b>who</b> make up on the train.</p> <p style="text-align: center; font-size: small;">「それは誰かというよね」</p> </div> <p style="text-align: center; margin: 0 100px;">こんな人、特徴</p> <p>(2) 調査する内容を確認する。</p> <p>① 4 の調査活動で使う表現を口頭練習する。</p> <p>例) &lt;乗り物の中で&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ the people <b>who</b> speak loudly.</li> <li>・ the people <b>who</b> use their smartphone</li> <li>・ the people <b>who</b> make up</li> </ul> <p>&lt;学校で&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ the friends <b>who</b> always smile happily</li> <li>・ the teacher <b>who</b> gives a lot of homework</li> <li>・ the teacher <b>who</b> chews gum in the class</li> </ul> <p>&lt;家で&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ the people <b>who</b> sing in the bathtub</li> <li>・ the people <b>who</b> farts in Kotatsu</li> </ul> <p>&lt;映画館で&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ the people <b>who</b> use their smartphone</li> <li>・ the people <b>who</b> laugh loudly</li> <li>・ the people <b>who</b> drop litter</li> </ul> <p>② カードゲームで調査に使う表現に慣れる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配布されたカードを机の上に並べる。</li> </ul> <p><b>T: Please spread the cards on the desk.</b></p> <p><b>S: OK. (並べる)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教師のデモンストレーションを視聴する</li> <li>・ 4人グループでカード当てゲームを行う。</li> </ul> <p><b>A: (先行詞カードをめくる) The people...</b></p> <p><b>B: who...</b></p> <p><b>A: (説明カードをめくる) make up on the train.</b></p> <p>③ パワーポイントで再度表現の確認をする。</p> <p>4. 調査活動を行う。</p> <p>(1) どの質問をするのか役割分担を行う。</p> <p>(2) 質問内容を暗記する。</p> <p>(3) 会話表現を確認し、調査活動を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 日本語は使わない。</li> <li>・ リアクションをする。</li> <li>・ ALT に必ず 1 つは質問をする。</li> </ul>	<p>一斉</p> <p>一斉</p> <p>班</p> <p>班</p> <p>一斉</p>	<p>・ 先行詞が人の時に who を用いることを意識できるように、カードの色を赤色にする。</p> <p>・ girl がどんな人なのか、なぜ分かったのかを生徒に問い、who 以下の文章が、先行詞を詳しく説明しているということに気付かせる</p> <p>・ 様々な表現を練習させるために、パワーポイントを活用する。</p> <p>・ 生徒の興味関心を高めるために、調査項目は事前アンケートで生徒が調べたい内容として選んだものから抜粋する。</p> <p>・ 内容を想起しやすくするために、アンケートで使用した絵(場面が想像できる)と同じものを使用する。</p> <p>・ 視覚的に表現を習得できるように、カード当てゲームの要領でゲームを行わせる。その際、発音しながらカードを取るよう指示する。</p> <p>・ 本時の活動でスムーズに会話できるように、使用する語句をカードゲームでインプットさせる。</p> <p>・ 内容が確認できるように、電子黒板の画面にカードゲームで使った絵を表示しておく。</p> <p>・ 4つの班に分ける。その際、質問内容が同じにならないように、各班に異なる場面を設定する。</p> <p>・ 調査活動の意欲を高めさせるために、役割分担を行い、班員全員で協力して調査できるようにする。</p> <p>・ 発音等分からない生徒は ALT や JTE にヒントをたずねることが出来ることを伝える。</p>	<p>10</p> <p>10</p> <p>15</p>

<b>終末</b>	5. 本時の授業内容を振り返る。 (1) 調査した内容を発表する。 (2) 班でひとつ、オリジナルの質問を考える。 (3) 本時の授業のまとめとして、関係代名詞の主格 who を使って尊敬する人について書く。	班  個	・本時のまとめをし、次時 Short Talk には班で作ったオリジナルの質問を使うことを伝える。	<b>5</b>
<div style="border: 1px solid green; padding: 5px;"> <p> <b>・関係代名詞 who を用いて、10人に調査活動(○○をする人をどう思うか)を行うことができた。</b>  <b>・関係代名詞の who を使えば、1つの文の中に、ある人について詳しい情報を付け加えることができることがわかった。</b> </p> </div>				